

2007年度第4回番組審議会議事録

1. 開催日時 2007年10月22日(月)16:00~17:00

2. 開催場所 弊社サブスタジオ

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 6名 為岡務・萩尾利雄・高木邦子・木辻清子・山本幸男・澤田智恵子

3-3. 欠席委員 2名 正岡健二・平川愛恵

補: 放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

4-1. 番組審議

第4回審議番組 10月2日(火)13:00~13:20 放送

「文化と街のソムリエ 関西学院大学山中研究室多声的文化批評」

提供: 関西学院大学山中研究室

パーソナリティ: 関西学院大学総合政策学部教授 山中速人

金 千秋

「まちはイキイキきらめきタイム」火曜日(12:00~13:30)の15分程度のコーナー。

関西学院大学の山中ゼミとFMわいわいの共同制作で、学生たちに市民メディアを使って情報発信する場を提供する、一年間の契約番組です。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

【正岡健二委員】

- ・ 音量、音質ともに良好。
- ・ 話の掛け合い、スピード、テンポ、間ともにラジオトークとして良好。聞きやすい。
- ・ FMわいわいの格調の高さと神戸ならではの地域文化(映画)を発信する番組として大切な番組である。映画を通しての世代解説と社会事象としてのモラルの検証はよく伝わった。

【平川愛恵委員】

- ・ 言葉選びが上手く番組の目的を明快に伝え聞く者に親近感を与えることに成功しているのではないかと。
- ・ ユーモアを交えた批評でリスナーに映画を見たいと思わせるだけでなく、文化を斬る視点で学ぶ、考えさせることもできる批評になっている。

- ・ パーソナリティ二人の会話もベストコンビネーション。

6-2. 出席者の審議

【萩尾利雄委員】

- ・ 話のテンポがよく気持ちよく聞くことができた。放送として聞き易かった。

【澤田智恵子委員】

- ・ パーソナリティの山中さんの声がよくよかった。音的にもよかった。
- ・ 話題にしていた映画を見に行きたいと思えたと興味を持って聞いた。
- ・ 映画館の情報（電話番号等）をコーナーの終わりに再度繰り返していたのがよい。

【山本幸男委員】

- ・ パーソナリティの声がラジオ向きである。流れるような話し方で聞き易かった。
- ・ パーソナリティと年代が同じくらいなので内容がよく分かった。

【木辻清子委員】

- ・ 全く知らない映画の話をしてしたが一回見てみたいと思えた。

【高木邦子委員】

- ・ パーソナリティの声がよく、テンポも音量もよかった。
- ・ しかしスピードが早い。書き留めよう、心にとめようと思うと早い。
- ・ 話の内容はよく分かったが解説されていた現代社会の傾向にはなじめないと感じた。

【為岡勉委員長】

- ・ 声をはっきりしていて聞き易かったが喋りが早かった。
- ・ 映画が好きなので楽しんで聞いた。興味のある人向けの情報番組としてはよい。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 映画日本発祥の地であるということ、これは神戸の文化であるという視点。また、シネカノン神戸が、全国上映はされにくいが高品質の映画を上映している劇場であるということ。そして、この会社の経営者が在日であることもあり、FM わいわいとして“映画を見に行く気持ちにさせる番組”ということで月一回映画に特化して放送している。
- ・ 今後はシネカノン神戸と連携したメディアミックスものにしていく予定。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

FM わいわいのホームページに番組とリンクした映画評のページを制作予定。

8. 審議内容の公表について

8-1. 公表内容 議事の内容

8-2. 公表方法

- 8-2-1. 自社放送 2007年11月17日(土) 17:50~18:00 放送予定

8-2-2 . 議事録の設置

8-2-3 . ホームページに掲載

以上